

まごころ便り



平成 23年 1月 11日 発行

あけましておめでとうございます。皆さまお健やかに新しい年を迎えられた事と、お喜び申し上げます。まごころの家でも、元日の朝はお神酒で乾杯をし、みんなで元気に新しい年を迎えられた事を祝いました。

昨年10月より新たな行事として屋外行事を始めました。10月には阿知須のきらら自然公園に行き、自然散策・野鳥観察を行いました。11月には鑄銭司の両足寺に紅葉狩りに行き、自然の美しさを十二分に堪能しました。特に両足寺の紅葉の美しさは観る者の心を洗われるような神秘的なもので、皆さん満足されていました。傾斜のある場所だったので職員は車椅子の移動のため筋肉痛が残りましたが、心地良い痛みでした。



また、昨年春より屋内活動として月に一度習字教室、10月よりお花の教室も始まり、毎月第2・第3日曜日には皆さん思い思いにお花を生け、食堂や居室前に飾られています。



11月には文化の日にちなみ、まごころの家で日頃皆さんが創作されている習字・手芸品・塗り絵・竹細工・ちぎり絵等を皆さまに出展して頂き作品展を開催しました。皆さん他の方の作品を見られ、創作意欲を掻き立てられた方、感心された方、想いはそれぞれでしたが今年の作品展にはまた多くの方が出展されることを期待しております。



12月11日には第2回まごころの家クリスマス会を開催しました。10月末よりプレゼントや飾り物の作成には、皆さんが喜んで協力され職員は材料調達や段取りに追われる感じでした。

さすが、昔取った杵柄！皆さんの手さばきの早さと根気強さには驚きです。口では「目がよう見えん」「手がしびれちよるからかなわん」と言われますが…。

皆さん、`負けられません`の気持ちをしっかりお持ちです。これが長生きの秘訣でしょう。



皆さまの昨年10月～12月までの様子をお知らせします。詳しくお聞きになられたい事がございましたら、長尾までご連絡下さい。